



左

Percussion

神田直樹(かんだ・なおき)

2003 年 OLD に加入。Sony Music からメジャーデビューし、数々の作品をリリース。2014 年 OLD を脱退し、打楽器奏者として活動開始。様々な音楽家とコラボレーション。ボーカルユニット「キキミミ」(中標津)やギタリスト山木将平のバンドに参加。様々な打楽器を用い、常に生命力溢れるグルーブを追い求めている。

右

Piano

伊藤幸治(いとう・ゆきはる)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノを岡山京子、イェルク・デムス、コルトー・ガーベンの各氏に師事。近年では、クラシック演奏の他、独自の演奏スタイルによる活動を展開。浦島久氏の写真とのコラボによる DVD『Gentle Time, Gentle Mind』、写真集付きソロ・ピアノ CD『あれる光の中へ』などを発表。



左

Harmonica

千葉智寿(ちば・ともひさ)

17歳の頃、黒人ブルースハーブの音色に衝撃を受けハーモニカを始める。「心を歌い上げるような独自の音色には深い哀愁と人間味が漂う」との評価を受け、幅広く活動中。国内外で様々な受賞歴を併せ持ち、写真愛好家の浦島久氏とのコラボアルバムもリリース。北海道ハーモニカ連盟会長。

右

Hammer Dulcimer

小松崎 健(こまつざき・けんじ)

1959年生まれ、札幌在住。1986年、ハンマーダルシマーに出会い、独学で奏者を目指す。1988年、ケルト音楽グループ HARD TO FIND を結成。89年、ソニーレコードから「SACRA」でCDデビュー、その後、様々なアーティストと共演。2014年、朝の連続テレビ小説「花子とアン」の劇中音楽でダルシマーを担当。



Piano

南山雅樹(みなみやま・まさき)

札幌出身。4 歳からピアノを始め、ジャズは独学。

札幌市内のライブ・スポットで活動し、

2008 年、サックス奏者峰厚介の日本ツアーに参加。

2009 年に CD、Driving Jazz Hokkaido に 1 曲提供。

2017 年に渡欧、ストックホルム・ジャズ・フェスティバルの Maria Schneider のステージに一部参加。

教育の分野でも、北翔大学、札幌大学大学院で即興演奏、音楽理論の講座を担当するなど、コアな音楽ファンの育成に努めている。



Saxophone

蛇池雅人(じゃいけ・まさと)

苫小牧市生まれ。高校時代にブラスバンドでサックスを手にする。地元大学の学生 Big Band に参加。大学卒業後、会社員として働くも 30 歳より転向。「forest / 蛇池雅人 Group」(2015 年)リリース。ジャズの教育や普及活動にも力を入れる。現在、北海道を拠点に様々な音楽シーンで活動中。



左

Vocal & Piano

Ken Yahara

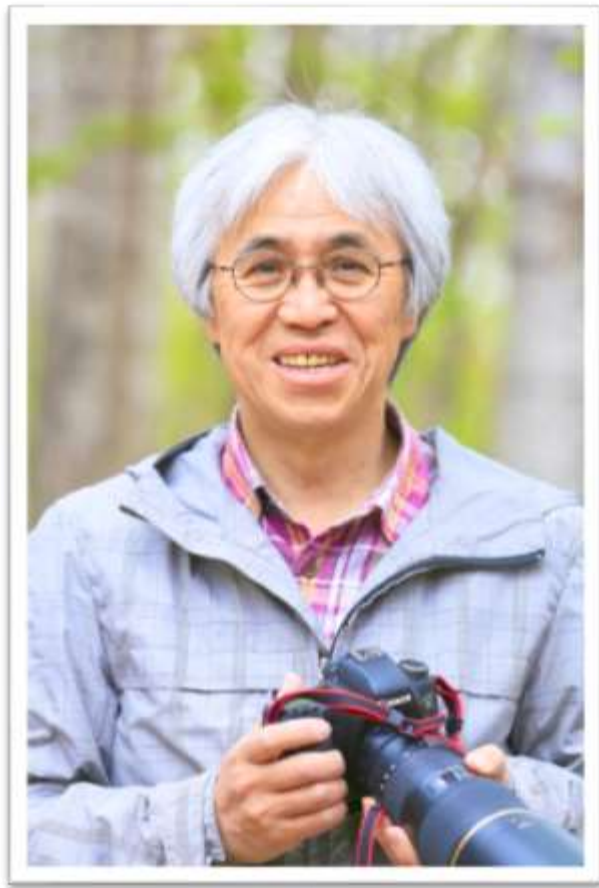
メジャーデビュー後、東京を拠点に活動。NY、ボストン等でジャズボーカル、コーラスを学ぶ。サッポロ未来ジャズ、サッポロシティジャズ等の音楽プロデューサーとして、またボーカル指導の第一人者としても活躍。ビートルズの大ファンで、毎年ジョンの命日に開催する追悼コンサートではオノヨーコ氏からメッセージが届く。

右

Vocal

MIZUHO

アメリカ、ボストンでジャズボーカルを学ぶ。ポニーキャニオンからメジャーデビュー。世界的ジャズトランペッター・タイガー大越プロデュース、ジャズの巨匠ゲイリー・バートンをゲストに迎えたアルバム「ロマンティックガーシュイン」でジャズジャパンアワード受賞。札幌文化奨励賞ほか、受賞歴多数。



Photo

浦島久(うらしま・ひさし)

1952 年豊頃町生まれ。ジョイ・イングリッシュ・アカデミー学院長。写真家の父、浦島甲一が中学英語教科書で取り上げられたことがきっかけで、2009 年より十勝の風景を撮り始める。ジュエリーアイスの命名者。2016 年豊頃町観光大使を受嘱。浦島久写真集『Jewelry Ice』（勝毎）、写真集「ハルニレ」(IBC)がある。



MC

miho

帯広三条高校卒、昭和女子大学短期大学部英語英文学科卒業後渡米。帰国後、FM-JAGA 入社。現在、あらゆるジャンルのニュースを伝える番組『CROSSOVER TOKACHI』（月曜～木曜 12:00～14:00）担当。同番組内のコーナー「U-JAZZ ALLEY」で多数のミュージシャンにインタビューを行い、人と楽曲の魅力を伝えている。